

## 改善計画書(兼改善状況確認書)

優先順位	改善項目No.		改善目標	改善に向けた計画内容	期間	評価(2008年4月1日現在)
	自己	外部				
1	61	25	日常的な外出支援を行う	外出の機会を多くもつようにする。地域での行事に積極的に参加するようにする。 (夏祭り・文化祭等)	年間を通して	
2	8	5	運営推進会議を活用する	利用者さんも参加できる内容での運営推進会議の実施。また新たな方の参加を募る。	年間を通して	
3	19	10	職員を育てる取り組みを行う	雇用開始時の研修を実施する。新人職員用に冊子を作成した。経験者でも自信がつくまでは、日中4人態勢とし、リーダーとなる職員が細かく指導することとして、不安のないように対応する。 外部の研修には積極的に参加する。	随時	
4	71	27	様々な災害対策をこころじる	消防避難訓練の年2回実施のみならず、他の災害についてもスタッフと話し合いを持ち、シュミレーションを行ってみる。 大きな家具類(食器棚・本棚等)の耐震補強のための固定を行なう。	年間を通して	
5	7	4	スタッフ全員で自己評価に取り組む	スタッフ全員で自己評価の3ヶ月前から、取りかかるようにする。また、ミーティングでも自己評価の項目ごとのねらいについて、説明し、全スタッフで取り組むようにする。	H20年10月～	
6	47	19	重度化の指針・看取りの指針について理解を深める	スタッフ間で看取りや重度化の指針について勉強会や話し合いを持つようにする。	随時	
7	20	11	同業者との交流を通じた向上を図る	スタッフが他のグループホームを知るために、お願いし、可能ならグループホームを見学させてもらい、情報交換等を行い、交流を図る。	年間を通して	